

日蓮大聖人御書全集

えもんのたいふどのごへんじ

右衛門大夫殿御返事

新版  
1502

えもんのたいふどのごへんじ

# 右衛門大夫殿御返事

こうあん ねん

弘安2年(79)

がつ 12月3日

さい 58歳

いけがみむねなか 池上宗仲

ひき

もう

うけたまわ

そうろう

おんふみ

そもそも、久しく申し承らず候のところ、御文

とうらいそうら

お

こと

青

裏

こそでひと

帽

子ひと

到来候い畢わんぬ。殊にあおきうらの小袖一つ・ぼうし一

帯ひと筋

がもくいつかんもん

栗ひとこ

受取

つ・おび一すじ・鵝目一貫文・くり一籠、たしかにうけとり

そうろう

まいらせ候。

とうこん

まっぼう

はじ

ごひやくねん

あ

そうろう

じこく

当今は末法の始めの五百年に当たりて候。かかる時刻

じょうぎようぼさつごしゆつげん

なんみようほうれんげきよう

ごじ

にほん

に上行菩薩御出現あつて、南無妙法蓮華經の五字を日本

こく いっさいしゆじよう

たも

由

きようもんふんみよう

国の一切衆生にさづけ給うべきよし、経文分明なり。ま

るぎい しぎい おこな

あき

にちれん

じようぎよう

た流罪・死罪に行わるべきよし、明らかかなり。日蓮は上行

ぼさつ おんつか

に

ほうもん

ひろ

ゆえ

菩薩の御使いにも似たり、この法門を弘むる故に。

じんりきほん

い

にちがつ

こうみよう

よ

もろもろ

ゆみよう

のぞ

神力品に云わく「日月の光明の、能く諸の幽冥を除く

ひと

せけん

ぎよう

よ

しゆじよう

やm

めつ

がごとく、この人は世間に行じて、能く衆生の闇を滅す」

とううんぬん

きようもん

しにんぎようせけん

ひと

せけん

ぎよう

等云々。この経文に「斯人行世間（この人は世間に行じ

いつ

もんじ

なか

にん

もんじ

たれ

おぼ

て」の五つの文字の中の「人」の文字をば誰とか思しめす。

じようぎようぼさつ

さいたん

ひと

おぼ

きよう

い

上行菩薩の再誕の人なるべしと覚えたり。経に云わく

われめつど

のち

まさ

きよう

じゆじ

「我滅度して後において、応にこの経を受持すべし。この

ひと

ぶつどう

けつじよう

うたが

うんぬん

人は仏道において、決定して疑いあることなけん」云々。

貴き辺へんも上じょう行ぎ菩ぽ薩さつの化け儀ぎをたす助くる人ひとなるべし。

こうあんにねんつちのとうじゆうにがつみつか

弘安二年己卯十二月三日

にちれん  
日蓮

かおう  
花押

えもんのたいふどのごへんじ

右衛門大夫殿御返事